

一 特集

長崎県年齢別推計人口調査結果（令和5年10月1日現在）

長崎県県民生活環境部統計課

結果のポイント

- 年少人口（0～14歳）は152,937人（県人口に占める割合は12.2%）  
割合が最も高いのは佐々町の16.6%、低いのは新上五島町の8.3%
- 生産年齢人口（15～64歳）は669,932人（同53.4%）  
割合が最も高いのは大村市の58.1%、低いのは小値賀町の38.8%
- 老年人口（65歳以上）は431,895人（同34.4%）  
割合が最も高いのは小値賀町の52.6%、低いのは大村市の26.3%

1 県人口

令和5年10月1日現在の本県の推計人口は、1,266,334人（男596,819人・女669,515人）で、昨年と比べて16,237人（男6,684人・女9,553人）減少している。〔表1-1参照〕

年齢3区分別に見ると年少人口（0～14歳）が152,937人（県人口の12.2%）、生産年齢人口（15～64歳）が669,932人（同53.4%）、老年人口（65歳以上）が431,895人（同34.4%）となっており、総人口に占める割合を前年と比べると、年少人口は0.2ポイントの減少、生産年齢人口は0.2ポイントの減少、老年人口は0.4ポイントの増加となっている。〔表1-2参照〕

表1-1 県・市部・郡部人口の前年との比較

（単位：人）

	令和5年10月1日			令和4年10月1日			R05-R04		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
長崎県計	1,266,334	596,819	669,515	1,282,571	603,503	679,068	16,237	6,684	9,553
市部計	1,131,301	532,829	598,472	1,145,985	538,811	607,174	14,684	5,982	8,702
郡部計	135,033	63,990	71,043	136,586	64,692	71,894	1,553	702	851

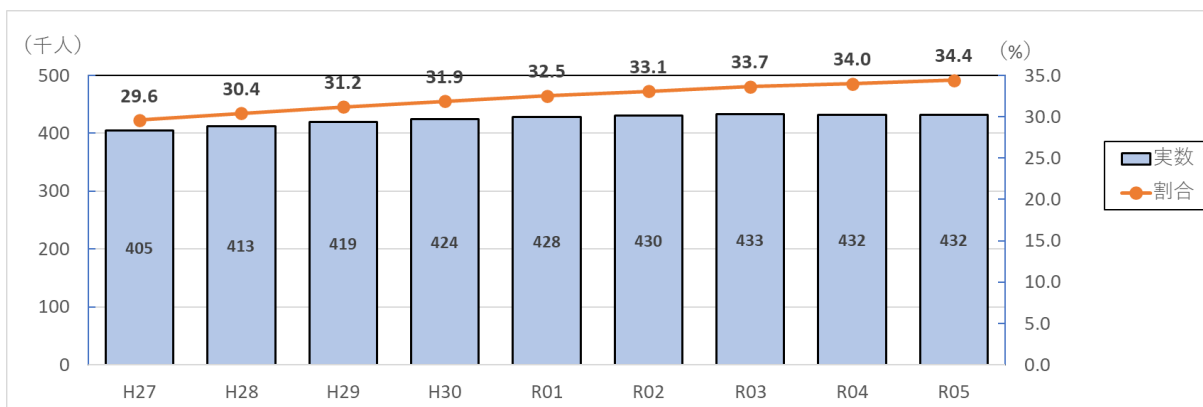
表1-2 年齢3区分割合の推移（各年10月1日現在）

（単位：人、%）

	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
H27	177,562	13.0	784,862	57.4	404,686	29.6
H28	175,084	12.9	768,673	56.7	412,690	30.4
H29	172,403	12.8	751,829	56.0	419,253	31.2
H30	169,989	12.8	735,484	55.3	423,907	31.9
R01	167,341	12.7	719,822	54.7	427,988	32.5
R02	164,303	12.6	706,077	54.3	430,353	33.1
R03	160,926	12.5	691,529	53.8	432,622	33.7
R04	157,368	12.4	681,536	53.6	432,092	34.0
R05	152,937	12.2	669,932	53.4	431,895	34.4

注）割合は総数から年齢不詳を除いて算出

図1 65歳以上人口と割合の推移



## 2 市部・郡部別人口

令和5年10月1日現在の本県の推計人口を市部・郡部別に見ると、市部人口は1,131,301人(男532,829人、女598,472人)、郡部人口は135,033人(男63,990人、女71,043人)で、前年と比べて、市部人口は14,684人の減少、郡部人口は1,553人の減少となっている。〔表1-1参照〕

また、県人口に占める割合は市部89.3%、郡部10.7%となっている。

年齢3区分を市部・郡部別に見ると、市部では年少人口が135,043人(市部人口の12.1%)、生産年齢人口が597,440人(同53.3%)、老年人口が387,588人(同34.6%)で、郡部では年少人口が17,894人(郡部人口の13.3%)、生産年齢人口が72,492人(同53.8%)、老年人口が44,307人(同32.9%)となっている。〔表2参照〕

また、年齢3区分を前年と比べると年少人口は市部で0.2ポイントの減少、郡部で0.2ポイントの減少、生産年齢人口は市部で0.3ポイントの減少、郡部で0.3ポイントの減少、老年人口は市部で0.4ポイントの増加、郡部で0.5ポイントの増加であった。〔表2参照〕

表2 年齢3区分別推計人口

(単位：人、%、ポイント)

	0～14歳			15～64歳			65歳以上		
	実数	割合	対前年増	実数	割合	対前年増	実数	割合	対前年増
長崎県計	152,937	12.2	0.2	669,932	53.4	0.2	431,895	34.4	0.4
市部計	135,043	12.1	0.2	597,440	53.3	0.3	387,588	34.6	0.4
郡部計	17,894	13.3	0.2	72,492	53.8	0.3	44,307	32.9	0.5

## 3 市町別人口

県人口を市町別に見ると、長崎市が393,597人で最も多く、次いで佐世保市の233,598人、諫早市の131,733人と続いている。また、増減については、大村市(175人)の1市で増加し、長崎市(5,239人)、佐世保市(3,619人)、南島原市(922人)、平戸市(727人)、諫早市(722人)など12市8町で減少した。〔表3、表5参照〕

表3 前年との増減数

(単位：人)

増加(1市)		減少(上位5市町)	
大村市	175	長崎市	5,239
		佐世保市	3,619
		南島原市	922
		平戸市	727
		諫早市	722

## 4 老年人口

市町別に老年人口の割合を見ると、小値賀町(52.6%)が最も多く、以下新上五島町(45.7%)、平戸市(43.1%)、南島原市(42.9%)、五島市(42.6%)と続き、17市町が30%を超えている。

一方、最も低いのは大村市(26.3%)で、次いで時津町(27.6%)、佐々町(29.2%)、長与町(29.3%)、諫早市(31.7%)と続いており、全ての市町で前年と比べ、老年人口の割合は上昇している。〔表4、表5参照〕

表4 老年人口の割合 (単位：%)

割合が高い上位5市町		割合が低い上位5市町	
小値賀町	52.6%	大村市	26.3%
新上五島町	45.7%	時津町	27.6%
平戸市	43.1%	佐々町	29.2%
南島原市	42.9%	長与町	29.3%
五島市	42.6%	諫早市	31.7%

表5 市町の年齢(3区分)別人口と割合

(単位：人、%)

市町名	総数	人口				割合		
		0~14歳	15~64歳	65歳以上	年齢不詳	0~14歳	15~64歳	65歳以上
<b>県計</b>	1,266,334	152,937	669,932	431,895	11,570	12.2	53.4	34.4
<b>市部計</b>	1,131,301	135,043	597,440	387,588	11,230	12.1	53.3	34.6
<b>郡部計</b>	135,033	17,894	72,492	44,307	340	13.3	53.8	32.9
長崎市	393,597	43,042	211,278	133,069	6,208	11.1	54.5	34.4
佐世保市	233,598	28,984	125,219	76,562	2,833	12.6	54.3	33.2
島原市	41,529	5,098	20,700	15,572	159	12.3	50.0	37.6
諫早市	131,733	17,063	72,889	41,766	15	13.0	55.3	31.7
大村市	96,579	14,904	55,337	25,073	1,265	15.6	58.1	26.3
平戸市	27,587	3,095	12,570	11,868	54	11.2	45.7	43.1
松浦市	20,126	2,335	9,708	7,803	280	11.8	48.9	39.3
対馬市	26,654	2,893	12,785	10,940	36	10.9	48.0	41.1
壱岐市	23,371	2,780	11,114	9,444	33	11.9	47.6	40.5
五島市	32,640	3,298	15,387	13,866	89	10.1	47.3	42.6
西海市	24,700	2,640	11,911	9,976	173	10.8	48.6	40.7
雲仙市	39,644	4,668	20,211	14,697	68	11.8	51.1	37.1
南島原市	39,543	4,243	18,331	16,952	17	10.7	46.4	42.9
<b>西彼杵郡</b>	68,621	9,871	38,981	19,570	199	14.4	57.0	28.6
長与町	39,380	5,586	22,140	11,518	136	14.2	56.4	29.3
時津町	29,241	4,285	16,841	8,052	63	14.7	57.7	27.6
<b>東彼杵郡</b>	34,166	4,191	17,698	12,158	119	12.3	52.0	35.7
東彼杵町	7,429	780	3,582	3,045	22	10.5	48.4	41.1
川棚町	12,852	1,557	6,793	4,454	48	12.2	53.1	34.8
波佐見町	13,885	1,854	7,323	4,659	49	13.4	52.9	33.7
<b>北松浦郡</b>	16,026	2,481	8,358	5,168	19	15.5	52.2	32.3
小値賀町	2,139	184	830	1,125	0	8.6	38.8	52.6
佐々町	13,887	2,297	7,528	4,043	19	16.6	54.3	29.2
<b>南松浦郡</b>	16,220	1,351	7,455	7,411	3	8.3	46.0	45.7
新上五島町	16,220	1,351	7,455	7,411	3	8.3	46.0	45.7

注) 割合は総数から年齢不詳を除いて算出

【参考】 市町別の年齢構成指数

市町名	年齢構成指数			
	年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
<b>県計</b>	22.8	64.5	87.3	282.4
<b>市部計</b>	22.6	64.9	87.5	287.0
<b>郡部計</b>	24.7	61.1	85.8	247.6
長崎市	20.4	63.0	83.4	309.2
佐世保市	23.1	61.1	84.3	264.2
島原市	24.6	75.2	99.9	305.5
諫早市	23.4	57.3	80.7	244.8
大村市	26.9	45.3	72.2	168.2
平戸市	24.6	94.4	119.0	383.5
松浦市	24.1	80.4	104.4	334.2
対馬市	22.6	85.6	108.2	378.2
壱岐市	25.0	85.0	110.0	339.7
五島市	21.4	90.1	111.5	420.4
西海市	22.2	83.8	105.9	377.9
雲仙市	23.1	72.7	95.8	314.8
南島原市	23.1	92.5	115.6	399.5
<b>西彼杵郡</b>	25.3	50.2	75.5	198.3
長与町	25.2	52.0	77.3	206.2
時津町	25.4	47.8	73.3	187.9
<b>東彼杵郡</b>	23.7	68.7	92.4	290.1
東彼杵町	21.8	85.0	106.8	390.4
川棚町	22.9	65.6	88.5	286.1
波佐見町	25.3	63.6	88.9	251.3
<b>北松浦郡</b>	29.7	61.8	91.5	208.3
小値賀町	22.2	135.5	157.7	611.4
佐々町	30.5	53.7	84.2	176.0
<b>南松浦郡</b>	18.1	99.4	117.5	548.6
新上五島町	18.1	99.4	117.5	548.6

<b>全国</b>	19.2	49.0	68.2	255.3
-----------	------	------	------	-------

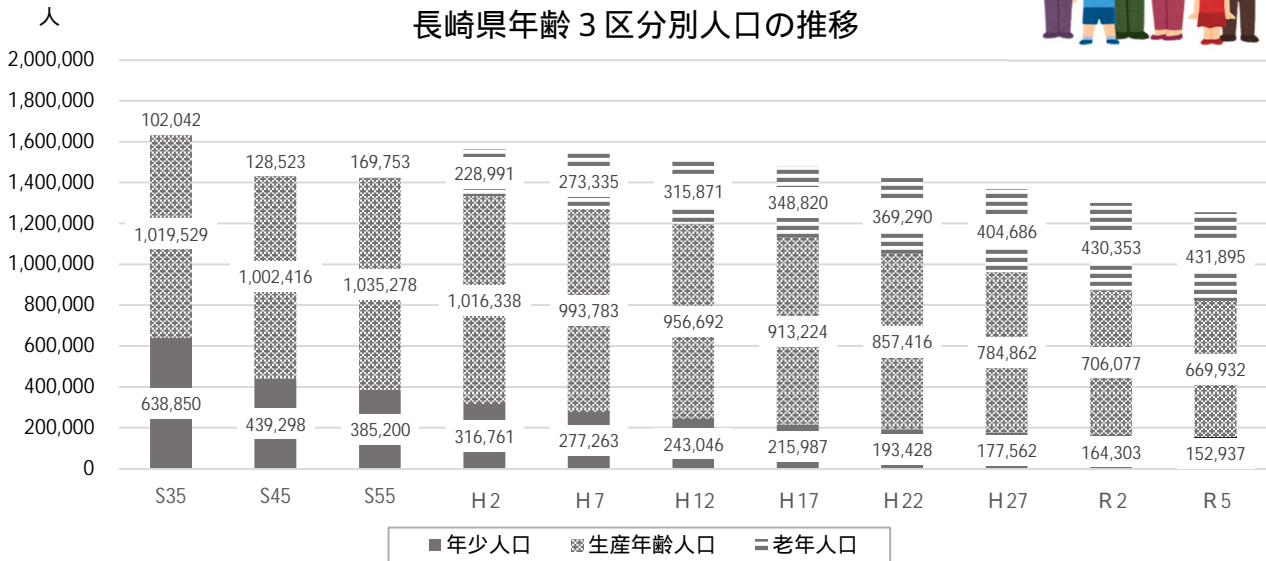
「全国」 総務省統計局「人口推計」令和5年10月1日現在の概数値

年少人口指数 = $\frac{0-14\text{歳人口}}{15-64\text{歳人口}} \times 100$	老年人口指数 = $\frac{65\text{歳以上人口}}{15-64\text{歳人口}} \times 100$	従属人口指数 = $\frac{(0-14\text{歳人口})+(65\text{歳以上人口})}{15-64\text{歳人口}} \times 100$	老年化指数 = $\frac{65\text{歳以上人口}}{0-14\text{歳人口}} \times 100$
---	---	--	---

各指数は分母の年齢の人100人に対し、分子の年齢の人が何人いるかを表している。例えば、従属人口指数は、15～64歳の生産年齢人口100人に対して、0～14歳、また、65歳以上の従属人口が何人いるかを表し、働き手が支えている働いていない人の数の参考などに用いられている。

## コラム

### 働く世代が少ない長崎県！？



出典：総務省「国勢調査」、県統計課「長崎県異動人口調査」

少子高齢化は長崎県だけの問題ではありませんが、県人口がいちばんのピークだった昭和35年と令和5年を比較すると、年少人口は76%減少、生産年齢人口は34%減少、老年人口は323%増加と改めて数値をみると、少子高齢化の進行具合が確認できます。

### 割合を全国と比較すると・・・

年少人口割合 全国10位

順位	都道府県	割合(%)
1	沖縄県	16.35
2	滋賀県	13.20
3	佐賀県	13.11
4	熊本県	12.98
5	宮崎県	12.93
6	鹿児島県	12.86
7	福岡県	12.78
8	愛知県	12.65
9	広島県	12.32
10	長崎県	12.31

生産年齢人口割合 全国41位

順位	都道府県	割合(%)
1	東京都	66.26
2	神奈川県	62.79
3	愛知県	61.75
4	埼玉県	61.10
5	大阪府	60.91
}		
38	山形県	54.37
39	徳島県	54.26
40	大分県	54.20
41	長崎県	53.78

老年人口割合 全国12位

順位	都道府県	割合(%)
1	秋田県	38.60
2	高知県	36.09
3	山口県	35.19
4	徳島県	34.94
5	島根県	34.80
6	青森県	34.80
7	山形県	34.77
8	岩手県	34.55
9	和歌山県	34.00
10	大分県	33.97
11	愛媛県	33.92
12	長崎県	33.90

人口に対する割合を各都道府県と比較すると、年少人口割合は九州地方が高い傾向にあり、本県も10位に位置しています。

老年人口割合は東北地方が高い傾向にありますが、本県は12位に位置しており、九州では大分県に続いて2番目の高さです。

一方、生産年齢人口割合ですが、長崎県は41位と下位に位置しており、働く年代が少ないことがわかります。

注) 全国比較できる最新のデータ(令和4年分)で比較。



出典：総務省「人口推計(令和4年)」